

2022年度（一社）鳥取青年会議所

委員長 所信書

委員長 大谷 祐輝

近年、各地で大規模災害が発生し、高齢者や障害者など要配慮者への支援が間に合わないケースが発生し、地域コミュニティにおける住民同士の助け合いが重要視されています。2021年に展開された、地域コミュニティにおける共助と要配慮者への支援に対する活動と、鳥取JC防災システムを錬磨し、甚大な被害が発生する危機感を持ちながら、いかなる社会情勢下でも、災害に強い人づくり、体制づくり、地域づくりの必要があります。

まずは、因幡市民の防災・減災に対する行動を促進するために、災害の種類と被災した際に発生する被害、その対策方法の正しい知識を得られる場を提供し、日常的に防災・減災に備える重要性を理解する機会を創出します。そして、災害に強い安心・安全なまちづくりのために、個人の力だけでは解決が困難なことを、地域で協力して解決するための「地域コミュニティ」の重要性を体験し、行政と地域住民が災害リスクに関する情報を共有することで、自主防災組織の強化を図ります。さらに、要配慮者が迅速に避難し、避難生活を送るために地域住民と交流の機会を提供し、必要な支援について理解を深め、地域協力の輪を広げます。また、災害時における迅速な被災地復興支援のために、広域ネットワークを有するJCの強みを活かした産官学との連動ネットワークを構築し、鳥取JCとして防災・減災体制を強化し、必要な場所に必要な支援を出来るようにパートナーシップを創出します。そして、メンバーが迅速に災害に対応できる体制づくりのために、2021年に策定された鳥取JC防災マニュアルを検証・改善し、災害に強い組織を生み出します。

防災・減災に対する豊富な正しい知識を持ち、能動的で価値観や多様性を相互に理解し、自主防災に強い新たな地域コミュニティを形成した因幡市民と、災害に対し一早く行動し、産官学との連携が行える関係を構築した我々が、「郷土愛溢れる因幡」を創造します。

理事としてメンバーへの責任と自覚を持ち、常に感謝の気持ちを忘れず、謙虚な姿勢で真摯に向き合います。青年が社会により良い変化をもたらすための発展と成長の機会を提供し、社会の仕組みを変える「運動」が創れると信じ、誠心誠意全力で活動していきます。